



<https://www.wakayama-u.ac.jp/>

和歌山大学社会インフォマティクス学環
**学校推薦型選抜
 学生募集要項**

Wakayama University

電車でのアクセス



空港からのアクセス



<https://www.wakayama-u.ac.jp/>

和歌山大学社会インフォマティクス学環
学校推薦型選抜 学生募集要項

2025 令和7年度

2025

2025 令和7年度

socio-informatics

socio-informatics

社会インフォマティクス学環 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

1. 求める学生像

社会インフォマティクス学環において入学者に求める知識・技能、能力、態度は次のとおりである。

(1)知識・技能

・本学での学修に必要なとなる知識・技能を有する人

(2)思考力・判断力・表現力

・課題解決に取り組むための基礎となる思考力・判断力・表現力を有する人

(3)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

・多様で広い知的関心を持ち、他者と関わって、主体的に学ぼうとする意欲や態度を有する人

・身につけた知識や技能を活用し、課題解決に取り組む意欲や態度を有する人

【入学後の期待】

入学後においては、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを踏まえ、複数の専門領域を包摂した教育課程を通して、テクノロジーに基づく柔軟性を持ち、かつ、社会的通用性を備えた人材として、次の知識・技能、能力を身につけることを期待する。

(1)ビジネスサイエンス力

社会の現場で必要とされる、社会科学分野のファンダメンタルなモデルを、データエビデンスベースの工学的アプローチを用いて、幅広い知識やノウハウを活用することができる。

(2)データ利活用力

社会に存在するデータを利用し、何を活用できるのか、また、新たにどのような観点で情報収集すべきかを思考できる。さらには、データを分析し、それを検証して将来の予測に活かすことができる。

(3)企画力・実践力・発信力

データ分析から導き出された成果を社会の様々な活動に適用し、社会の活性化や新たな付加価値創出につなげていくことができる。

2. 入学者選抜の基本方針

(1)一般選抜（前期日程）では、高等学校等で学んだ各教科の基礎的な学習の達成の程度を大学入学共通テストにより、数的理解力、思考力・判断力・表現力については個別学力検査等において評価し、入学者を選抜する。

(2)学校推薦型選抜では、高等学校等で学んだ各教科の基本的な知識を大学入学共通テストにより、社会科学ならびにデータエビデンスのアプローチを学ぶ上で必要な思考力・判断力・表現力及び他者との議論や協働的な活動の礎となるコミュニケーション能力を面接により評価し、入学者を選抜する。

令和7年度 和歌山大学社会インフォマティクス学環学校推薦型選抜学生募集要項

本学環においては、学校長からの推薦に基づき、大学入学共通テスト、面接及び調査書等を資料として判定する学校推薦型選抜を実施します。

1. 募集人員

学 環	募集人員
社会インフォマティクス学環	10名

合格者が募集人員に満たない場合には、その差の募集人員を前期日程の募集人員に含めて募集します。

2. 出願資格

次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす者

【基礎資格】

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和7年3月までに卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者

【要件】


次のすべてに該当する者

- (1) 本学環が指定する令和7年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験した者
- (2) 出身学校長が責任をもって推薦できる者(1校あたり2名までとする)
- (3) 学業成績が優秀で本学環での学習に強い意欲をもつ者
- (4) 合格した場合、入学を確約できる者

3. 出願手続

(1) 出願書類

①	志 願 票	本学環所定様式。大学入試センター発行の「令和7共通テスト成績請求票(推薦)国公立推薦型選抜用」を貼付してください。 また、志願票の裏面の所定欄に、検定料納入の際に金融機関又はコンビニエンスストアから交付される「振込金受付証明書(C票)」又は「収納証明書」を貼付してください。 〈出願までに成績請求票が大学入試センターから届かない場合〉 ・「志願票」本紙は、必要事項を記入し、成績請求票貼付なしで提出してください。 【提出期限：令和6年12月11日(水)午後5時必着】 ・成績請求票が手元に届き次第、「推薦」国公立推薦型選抜用を、本学環所定の「共通テスト成績請求票在中」封筒(茶色)に入れて、必ず郵送(簡易書留)で提出してください。 【提出期限：令和6年12月23日(月)午後5時必着】
②	確 認 は が き (写)	大学入試センターから送られる「確認はがき」の、氏名や登録教科等が記載された面を、A4サイズ用の紙にコピーしたもの。
③	受 験 票 ・ 写 真 票	本学環所定様式。写真(縦4cm×横3cm)を貼付してください。
④	志 望 理 由 書	本学環所定様式。志願者の自筆に限ります。
⑤	推 薦 書	本学環所定様式。出身学校長が作成してください。 (推薦理由は、パソコン等での直接印字可。)
⑥	調 査 書	「令和7年度大学入学者選抜実施要項」で定める調査書の様式で出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 高等専門学校については、調査書に準じて作成してください。
⑦	宛 名 票	本学環所定様式。
⑧	「受験票在中」封筒	本学環所定封筒。志願者の郵便番号・住所・氏名を明記し、郵便切手370円分を貼付してください。※郵便料金が改定された場合は、改定後の速達定形郵便物(25g以内)の郵便料金分の切手を貼付してください。
⑨	「共通テスト成績請求票在中」封筒	本学環所定封筒。上記「①志願票」欄を参照してください。

⑩	「合格発表掲示(写)在中」封筒	本学環所定封筒。志願者の学校の郵便番号、所在地、学校名、氏名を明記してください。
⑪	入 学 検 定 料	17,000円(下記のいずれかの方法で納入してください。)
	【 金 融 機 関 】	別添の振込依頼書により金融機関の窓口にてお振込ください。
	【コ ン ピ ニ エ ン ス ト ア】	下記の支払期間中にお支払いください。 支払方法等につきましては、必ず下記ホームページでご確認ください。 【支払期間】 令和6年11月1日(金)午前0時～令和6年12月10日(火)午後3時 まで 【支払方法等】 https://e-shiharai.net/ (右のQRコードからもアクセスできます) 

(2) 出願期間

令和6年12月9日(月)～12月11日(水)の午後5時【必着】

(3) 出願方法

- ①出願書類は、志願者が1名の場合でも出身学校長の責任において、「書留・速達」にて郵送してください。封筒は各校で用意し、表面に「社会インフォマティクス学環学校推薦型選抜願書〇名分在中」と朱書きしてください。なお、1校あたり3名以上の出願や志願者個人からの出願は受理しません。
- ②志願者の出願書類は個人ごとに願書類在中封筒に封入し、各校の封筒に入れてください。

(4) 出願書類等の提出先及び問い合わせ先

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地

和歌山大学社会インフォマティクス学環係 電話 073-457-8045(直通)

4. 出願に関する注意事項

- (1) 国公立大学の学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて)へ出願することができるのは、1つの大学・学部等のみです。
- (2) 出願書類に不備があるときは、受理できないことがありますので、十分点検の上、提出してください。
- (3) 出願書類は正確に記入してください。記入事項に偽りがあった場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- (4) 出願後は、書類記載事項の書き換えは認めません。ただし、出願後に住所・受信場所に変更があった場合は、直ちに届け出てください。
- (5) 出願書類は、大学入学共通テスト成績請求票を含めて、受理後、いかなる理由があっても返還しません。

5. 入試方法等

大学入学共通テストの成績、面接の結果及び出願書類により総合して行います。

(1) 入学者選抜実施教科・科目及び配点

学科名	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			配点合計
	教科グループ	科目名等	配点	教科等	科目名等	配点	
社会 インフォ マティクス 学環	国 地歴 公民 数 ① ② 理 外 情	国 地歴・地探、歴経・日探、歴総・世探、地総/歴総/公 から1 公・倫、公・政経、(地総/歴総/公(再掲)) 又は2 数Ⅰ・数A、数Ⅰ から1 数Ⅱ・数B・数C 物基/化基/生基/地基、物、化、生、地 から1又は2 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 から1 情Ⅰ	*100 *100 *100 *100 *100 50 50 *100 *100 *100 *100	その他	面接	400	800
	【4教科5科目又は3教科5科目】						

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

(注1) 「外」の英語において、リーディングとリスニングを課します(リスニングが免除となった場合を除き、リーディング及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります)。

(注2) 指定教科数・科目数を超えて受験している場合、次の①と②で示す教科・科目からなる5科目を採用します。

① 「数①」、「数②」(必須)

② 次の a、b、c にそれぞれ示した3科目の組合せのうち、最も高得点になるもの

a. 「地歴」、「公民」から2科目と、以下から1つの組合せ

- ・「国」
- ・「理」の第1解答科目
- ・「外」
- ・「情」

b. 「理」から2科目の組合せと、以下から1つの組合せ

- ・「国」
- ・「地歴」、「公民」の第1解答科目
- ・「外」
- ・「情」

c. 以下から3つの組合せ

- ・「国」
- ・「地歴」、「公民」の第1解答科目
- ・「理」の第1解答科目
- ・「外」
- ・「情」

(注3) 「理」から2科目を選択する場合で、「物基/化基/生基/地基」を選択した場合は、当該出題科目において選択した2つの出題範囲の内容と同一名称を付した科目の選択は認めないこととします。

(注4) 配点に*印を付してある教科は、選択教科を表します。

(注5) 大学入学共通テスト 外国語「英語」において、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点(200点満点)を英語の得点とし、本学環が定めている配点に換算します。
ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、リーディング(100点満点)の得点を2倍(200点満点)にしたものを英語の得点とし、本学環が定めている配点に換算します。

(2) 入試期日及び実施場所

期 日	教科・科目	場 所
令和7年1月24日(金) 予備日：令和7年1月27日(月)	面 接	北1号館

※自然災害等により1月24日(金)に実施できないこととなった場合、予備日に試験を実施します。

その場合は、社会インフォマティクス学環ホームページにてお知らせします。

6. 受験上の注意

(1) 本学受験票を必ず携帯し、本学係員の請求があれば提示できるようにしてください。

(2) 受験票で指定した時刻に和歌山大学北1号館1階に集合してください。

集合時刻に遅刻した者は、受験を放棄したものととして取り扱う場合があります。

(3) 別途、受験上の指示が出ることがあります。

7. 受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談

障害のある者等、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、学校長を通じて出願前にあらかじめ事前相談の申請をしてください。また、相談申出期間後の不慮の事故等による負傷者についても、受験上及び修学上の配慮が必要となった場合は、その時点で速やかに申し出てください。

点字等受験上の特別な準備を必要とする者については、内容によっては対応に時間を要しますのでできるだけ早い時期に事前相談の申請をしてください。

(1) 相談申出期間

出願開始の1ヵ月前まで

(2) 相談及び申出方法

事前に下記相談先まで電話連絡のうえ、申請書及び必要書類(診断書(写)、大学入学共通テスト受験上の配慮申請時の診断書(写)、大学入学共通テスト受験上の配慮事項決定通知書(写)等)を提出してください。詳細な必要書類は申請時に指示します。

なお、場合により、志願者又はその立場を代弁し得る出身学校等関係者と面談を行います。

(3) 問い合わせ先

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地

和歌山大学社会インフォマティクス学環係 電話 073-457-8045(直通)

8. 合格者の発表等

(1) 発表日時

電話等による合否結果の問い合わせには一切応じません

*令和7年2月11日(火) 午前9時

学校推薦型選抜合格者は、本学及び他の国公立大学・学部等(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部等を除く)の前期日程・公立大学中期日程・後期日程の個別学力検査等を受験しても、合格者にはなりません。

ただし、特別の事情により入学を辞退する必要がある、当該出願者の推薦を行った学校長から令和7年2月18日(火)午後5時までに「推薦入学辞退願」(様式任意)を提出し、本学の入学辞退許可を得た場合は、この限りではありません。

(2) 合否結果の通知等について

①合格者の受験番号を本学ホームページ(入試情報 <https://www.wakayama-u.ac.jp/admission/>)に掲載します。※掲載開始時間は多少前後することがあります。なお、合格者発表直後は、回線が混み合い接続に時間がかかる場合があります。また、推薦学校長あてに合格発表掲示の写しを郵便で送付します。

②学校推薦型選抜合格者には、合格通知書及び関係書類を郵便で送付します。

9. 学校推薦型選抜に合格しなかった場合

(1) 本学環の学校推薦型選抜に不合格となった場合は、(2)により出願した者に限り本学及び他の国公立大学・学部等の一般選抜を受験することができます。

(2) 本学環の学校推薦型選抜の合否が確定するのは、一般選抜の出願期間後になるので、学校推薦型選抜の入学試験に合格しなかった場合に備えて、国公立大学・学部等の一般選抜を受験を希望する場合は、所定の手続きにより出願手続をしておく必要があります。

10. 入学手続

原則、郵送とします。入学手続の詳細については、選考結果通知の際に送付する『入学手続案内』でお知らせします。

(1) 入学手続期限

*令和7年2月18日(火)

午後5時までに和歌山大学入試課に必着するように郵送してください。

ただし、午後3時～午後5時においてのみ窓口を設定し、持参による手続を受け付けます。

やむを得ない理由により上記期限までに手続ができない場合には、2月18日(火)午後5時までに和歌山大学入試課(073-457-7117)に電話連絡があった者のうち、本学が認めた者に限り、2月19日(水)正午まで受け付けます。

(2) 入学手続に必要なもの

①	入 学 料	282,000円 (注) 入学金は本学所定の振込依頼書により、入学手続時までに納入してください。これについては、合格者に送付する入学手続案内で納入方法の詳細をお知らせします。
②	受 験 票	「本学受験票」及び「大学入学共通テスト受験票」
③	合 格 通 知 書	本学より送付したもの。

*これらは、入学手続時に必要としますので、忘れないよう十分注意してください。

11. 入学料及び授業料

入学料 282,000円

授業料 267,900円〈前期分〉 535,800円〈年額〉

上記記載の金額は、令和6年度のものであります。令和7年度入学者の納付金額については、決定次第、別途お知らせします。

(注) 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

12. 入学手続に関する注意事項

学校推薦型選抜合格者の以降の手続の取り方により、次のとおりとなります。

(1) 「入学手続を完了した者」

本学及び他の国公立大学・学部等(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部等を除く)の前期日程・公立大学中期日程・後期日程の個別学力検査等を受験しても、合格者とはなりません。

(2) 「入学手続を完了しなかった者」

本学環の学校推薦型選抜合格者としての権利を消失します。

また、本学および他の国公立大学・学部等(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部等を除く)の前期日程・公立大学中期日程・後期日程の個別学力検査等を受験しても、合格者とはなりません。

(3) 『『特別の事情』があり入学辞退が許可された者』

「特別の事情」がある場合に限り、推薦学校長を通じて令和7年2月18日(火)午後5時までに本人、保護者、学校長が連署・捺印した「推薦入学辞退願」(様式任意)を提出し、入学辞退が許可された場合は、国公立大学・学部等(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部等を除く)の前期日程・公立大学中期日程・後期日程の個別学力検査等の合格者選考の対象となります。

*入学辞退の許可を得ないまま、国公立大学・学部等(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部等を除く)の個別学力検査等を受験しても、入学許可は得られません。

13. 入試情報の開示及び入試成績の本人開示

(1) 入試情報の開示

志願者数、受験者数、合格者数、入学者数

- ・ホームページに開示

(2) 入試成績の本人開示

* 合格者選考の対象とならなかった受験者への開示は行いません。

* 各受験票(原本)は、確認後に返却します。

① 試験成績(得点・評価)

・ 開示方法等

◇ 受験者本人からの請求により開示します。

【窓口での受付】 * 申請受付当日の開示はできません。

申請書(本学所定様式)に記入のうえ、申し込んでください。

《請求に必要なもの》

- a. 本学環学校推薦型選抜受験票(原本)
- b. 大学入学共通テスト受験票(原本)

【郵送による受付】

受験者が遠隔地等の理由による場合は、郵送により請求することも可能です。

請求する本学あての封筒の表に「成績開示請求」と朱書きし、必要書類を同封のうえ、必ず受験者本人が郵便(特定記録)で申し込んでください。

《請求に必要なもの》

- a. 長形3号の返信用封筒(簡易書留郵便料として460円分の切手を貼付し、受験者本人あての住所・氏名を明記したもの)
* 郵便料金が改定された場合は、改定後の定形郵便物(50g以内)に簡易書留料金をあわせた郵便料金分の切手を貼付してください。
- b. 申請書(本学所定様式)
- c. 本学環学校推薦型選抜受験票(原本)
- d. 大学入学共通テスト受験票(原本)

◇ 開示時期……………令和7年5月から6月の2か月間(郵送必着)

窓口での請求の場合は同期間内の月～水曜日(祝祭日を除く)、午前9時～午後5時

◇ 開示場所(請求先)…社会インフォマティクス学環係(下記問い合わせ先)

② 調査書(成績評価及び出欠の記録)

・ 閲覧のみ可(開示時期・場所は試験成績の開示時期・場所に準じる。)

(3) 入試情報の問い合わせ先

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地

和歌山大学社会インフォマティクス学環係 電話 073-457-8045(直通)

14. 個人情報の取扱い

本学が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人和歌山大学における個人情報の保護に関する規程」等に基づき、厳密に取り扱います。

1. 出願書類等に記載された個人情報は、「入学者選抜(出願処理、選抜試験実施)」、「合格者発表」、「入学手続」の入試業務、「入試の改善や志願動向等の調査・研究」、「その他の本学における諸調査・研究等」を行うために利用します。出願書類等に不備があった場合には、その訂正・補完を迅速に行っていただくために、本学に出願していることを、保護者等又は出身学校に連絡する場合があります。
なお、入学者については、「入学者の受入準備」、「教務関係(学籍管理、修学指導等)」、「学生支援関係(健康管理、授業料免除・奨学金業務、就職支援等)」、「授業料等収納業務」を行うために利用します。
2. 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、性別、生年月日、高等学校等コード、本学の受験番号及び大学入学共通テストの受験番号に限り、可否及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。
3. 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、「入試結果の集計・分析」、「入学者選抜方法の調査・研究」及び「学生支援関係(授業料免除・奨学金業務等)」を行うために利用します。
4. 一部の業務を外部の事業者へ委託する場合があります。この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだ上で、当該事業者に対して個人情報を提供します。
5. 捜査機関等が捜査上必要とした場合等、行政機関等が法令に定める業務等を行うに必要な限度で利用することについて、相当の理由があるときに、当該行政機関に個人情報を提供します。

入学案内

学環の紹介

私たちの暮らしている社会は、気候変動や新しい技術など、様々な要因によって変化をつづけています。こういった変化の中で社会的課題にうまく対応するには、情報化社会のビッグデータから正しい情報を得るための情報処理力と、社会を支える経済・ビジネス・行政活動において適切な対応を行うための社会科学に基づく分析力が必要です。我が国が目指す新しい社会では、データの収集や分析だけでなく、得られた情報から新たな価値や方向性を創造し、社会に向けて発信できる人材が求められます。社会インフォマティクス学環は、文理融合の、すなわち、社会(経済、産業、文化など社会の多様な概念や実態)に対してインフォマティクス(情報技術により分析・把握、変革)を実践する人材の育成を目的とし、社会インフォマティクス人材の育成に向けて、次のような特色ある教育を実践していきます。

- ①和歌山大学の学部を横断した教育： 経済学部・システム工学部・観光学部が密接に連携し分野横断的な知識や能力を身につける教育を実現します。
- ②実データを活用した教育： 地方自治体、総務省統計局統計データ利活用センター、企業等が有する実データを用いた実践教育を行います。
- ③自治体や企業等と連携した実践的な教育： 自治体や企業等と連携し、社会における課題解決に資する実践的な教育を実施します。
- ④少人数教育による充実したサポート体制： 入学定員30名に対し、担当教員は15名と充実したサポート体制で教育にあたります。学生と教員との距離も近く、学生個人の能力にあわせたきめ細かな教育を実施します。

授業科目は卒業までに(1)ビジネスサイエンス力、(2)データ利活用力、(3)企画力・実践力・発信力の3つの能力を身につけることを目的に設定されています。また、その内容は汎用性を身につけるために経済学・観光学を中心とした社会科学とデータサイエンスや情報学を中心とした工学の基盤となる科目から始まり、専門性を高めることを目標とした4つの応用領域からなる科目群を用意しています。

- ①地方自治&産業系科目群： 地方国立大学で培った地域活性化やデータを利用したノウハウを学生に教授し、国内外に発信していくことを目標とする。
- ②エネルギービジネス&ファイナンス系科目群： ファイナンスのデータ分析・評価の裏付けを教授し、実践的なDX人材やグリーン人材を輩出することを目標とする。
- ③観光サービス系科目群： 観光サービス系科目では多様な人々とデータの活用を通してコミュニケーションの取れる協働性があり企画力を発揮する人材を涵養することを目標とする。
- ④インフォマティクス系科目群： データサイエンスからインテリジェンスへの変革を教授し、社会科学を理解し技術的専門性を実践できる人材を目標とする。

これにより、

- ①情報技術に強い、公務員や地域活性化に資する人材
- ②情報技術に強い、グリーン人材やエネルギー人材
- ③情報技術に強い、マーケティングや観光サービス人材
- ④社会問題のファンダメンタルな分析に強い、情報処理やDX人材

が養成され、地方自治体、エネルギー産業、金融業、商社、コンサルティングファーム、観光ビジネス、IT企業等への就職が目指せます。

さらに、学びを定着させ社会実装力を養うために、早い段階から自治体や企業等と連携した実践的な社会課題解決を行う演習を設けています。これらにより、本学環はこれからの時代に必要な人材育成の場となっています。

社会インフォマティクス学環の詳細につきましては、下記のホームページをご覧ください。

<https://www.wakayama-u.ac.jp/socinfo/>



学 生 生 活

1. 入学料・授業料免除

令和2年4月1日より、文部科学省による高等教育の修学支援新制度が始まり、本学は文部科学省より令和元年9月20日大学等における修学支援に関する法律(令和元年法律第8号)による修学支援の対象機関となる大学として確認いただいております。

このことにより、高等教育の修学支援新制度による奨学金がプラスされた入学料・授業料免除を実施します。詳細は、学生センターホームページ(授業料/経済援助ページ)をご覧ください。

<https://www.wakayama-u.ac.jp/scenter/fee/>



2. 奨学金

日本学生支援機構奨学金(給付奨学金・貸与奨学金)

詳細は、学生センターホームページ(授業料/経済援助ページ)をご覧ください。

<https://www.wakayama-u.ac.jp/scenter/fee/>

3. 下宿・アパート

市街地及び大学周辺のアパート・マンション等の斡旋は、和歌山大学消費生活協同組合専属提携店(073-456-4155)でも行っていますので、各自問い合わせてください。なお、平均的な物件の家賃は月額35,000~45,000円程度です。

4. ノートパソコンの準備について

本学では、個人所有のノートパソコンを活用した授業が実施されています。また、履修登録やレポート及び論文の作成・提出など数多くの機会にパソコンとインターネットを活用しますので、入学までに各自でノートパソコンを必ずご準備ください。

なお、本学ではMicrosoftと包括ライセンス契約を結んでおり、Microsoft 365(Word、Excel、PowerPoint他)を在学中無償で利用することができます。また、学内には無線LANを整備していますので、在学中自由に利用することができます。

詳細につきましては、下記ホームページにて随時公開すると共に入学手続き時に改めて案内します。

https://www.wakayama-u.ac.jp/admission/essential_pc/



5. 学生生活に関する問合せ先

問 合 せ 事 項	問 合 せ 先
入学料免除、授業料免除	学生センター(学生支援課) TEL 073-457-7128
奨学金	学生センター(学生支援課) TEL 073-457-7110
ノートパソコンの準備について	学術情報センター(学術情報課) TEL 073-457-7177